

事業名 **特別展「雨龍の殿様 牧野忠精資料展」**

趣 旨 「雨龍（あまりょう）の殿様」と呼ばれた長岡藩第9代藩主牧野忠精の書画から、長岡ゆかりの江戸時代武家文化の魅力を探る。

実施主体 長岡市立科学博物館

参加対象 市民

参加者数 3, 217人

回 数 1回 日 数 58日間

場 所 長岡市郷土史料館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月21日（土）～ 9月24日（月・振替休日）	特別展「雨龍の殿様 牧野忠精資料展」	資料寄託者 長岡藩主御子孫 博物館学芸員等
	内容・方法	「雨龍（あまりょう）の殿様」と呼ばれた長岡藩第9代藩主牧野忠精の書画から、長岡ゆかりの江戸時代武家文化の魅力を探る	
2	8月4日（土）・25日（土） 9月15日（土）・22日（土）・ 24日（月・振替休日）	特別展学習会	博物館学芸員等
	内容・方法	特別展の展示解説・見どころ紹介を行う	

成 果 ・ 多数の来館者を得たのみならず、質問や新たな資料所在情報をいただくなど、高い関心を寄せていただくことが出来た。

課 題 ・ 歴史資料を中心とした展示・公開により、市民の教育・文化資源への興味関心をさらに持続し、高めていく。

問合せ先 長岡市立科学博物館 学芸係（TEL0258-32-0546）

事業名 **チャレンジ！古文書**

趣 旨 簡単な古文書をゆっくり読んだり、本物の古文書を見たりして、古文書に親しんでもらう。

実施主体 長岡市立中央図書館文書資料室

参加対象 市民（初心者）

参加者数 延べ96名

回 数 6回（同じ内容2回）

日 数 6日

時 間 1時間30分

場 所 長岡市立中央図書館講座室1（2階）、長岡市立互尊文庫会議室（3階）

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月16日（日）・ 6月10日（火） 午後2時～午後 3時30分	江戸時代の田地預り証文	長岡市立中央図書館文書資料室 小林良子嘱託員
	内容・ 方法	はじめに20分、参加者どうしで解読してみる。後で講師による解説。実物の古文書を見てもらう。	
2	9月16日（日）・ 9月18日（火） 午後2時～午後 3時30分	小国地域の村の地境争い	同上
	内容・ 方法	はじめに20分、参加者どうしで解読した。後で講師による解説をし、実物の古文書を見た。	
3	11月25日（日）・ 11月27日（火） 午後2時～午後 3時30分	長岡藩士の参会時の料理について	同上
	内容・ 方法	はじめに20分、参加者どうしで解読した。後で講師による解説をし、実物の古文書を見た。	

成 果 ・ 古文書が初めての人にも、興味や関心を持ってもらえるようになった。

課 題 ・ 平成17年度から継続している参加者と、最近からの参加者との間で力の差があるため、内容の難易のバランスを取ることが課題。

問合せ先 長岡市立中央図書館文書資料室（担当 小林良子）

TEL：0258-36-7832

事業名 古文書解読講座「古文書に見る長岡のすがた」

趣 旨 古文書から江戸時代の長岡のすがたをさぐる。

実施主体 長岡市立中央図書館文書資料室・長岡郷土史研究会

参加対象 長岡市民 入門コース…初心者、一般コース…講座経験者

参加者数 延べ566名

回 数 10回 日 数 10日 時 間 15時間

場 所 長岡市中央公民館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月9日（水）から 7月25日（水）まで の毎月第2・第4水 曜日午後6時30分～ 午後8時	入門コース ①はじめに～古文書解読の楽しみ～ 検地帳をよむ ②人別宗旨改帳をよむ ③諸証文 をよむ ④藩の掟と庶民の暮らし ⑤往来物をよ む ⑥安禅寺御用記をよむ	今井雄介・田所和雄（長 岡郷土史研究会）、田中 洋史・小林良子（長岡市 立中央図書館文書資料 室）
	内容・方法	テキストをもとに、古文書や歴史的背景を講師が解説した。	
2	5月9日（水）から 7月25日（水）まで の毎月第2・第4水 曜日午後6時30分～ 午後8時	一般コース ①はじめに～古文書解読の楽しみ～ 戊辰戦争と安禅寺 ②治安の乱れ1 ③治安の乱 れ2 ④商品流通と交通 ⑤撰対屋村と撰田屋村 の出入1 ⑥撰対屋村と撰田屋村の出入2	古田島吉輝・今井雄介 （長岡郷土史研究会）、 田中洋史・小林良子（長 岡市立中央図書館文書資 料室）
	内容・方法	テキストをもとに、古文書や歴史的背景を講師が解説した。	
3	8月8日（水）から 9月26日（水）まで の毎月第2・第4水 曜日午後6時半～午 後8時	入門コース・一般コース合同 ⑦庶民の旅 ⑧女性 と津留番所 ⑨安禅寺の間取り ⑩安禅寺と祭礼	田所和雄・本山幸一 （長岡郷土史研究会）
	内容・方法	テキストをもとに、古文書や歴史的背景を講師が解説した。	

成 果 ・ 平成19年度から第1回～第6回まで入門コース（受講2年目まで）と一般コース（受  
講3年目以上）にコース分けをした。それぞれのレベルに対応した講座ができた。

課 題 ・ 第7回～第10回は入門・一般の両コース合同で実施したが、入門コースの人には難  
しかったためか参加者が減ってしまった。最後までレベルに応じた講座をすることが  
課題である。

問合せ先 長岡市立中央図書館文書資料室（担当 小林良子）  
TEL：0258-36-7832

**事業名 長岡市史双書を読む会**

**趣 旨** 市民に長岡の歴史について学習する機会を提供する。あわせて長岡市立中央図書館文書資料室発行の刊行物の頒布を促進する。

**実施主体** 長岡市立中央図書館文書資料室

**参加対象** 市民

**参加者数** 延べ386名

**回数** 2回 **日数** 11回 **時間** 23時間

**場 所** 長岡市立互尊文庫3階会議室ほか

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月29日～ 7月10日午後1時30分～午後3時30分	長岡市史双書NO.46から長岡市西蔵王の安禅寺に伝わる室町時代から江戸時代までの長岡の歴史を探る。	長岡市史双書NO.46編集担当者 田中洋史・小野民裕・田所和雄・ 小林良子・金垣孝二
	内容・方法	新刊の長岡市史双書No.46『蔵王権現領安禅寺御用記(2)』をテキストに、その回の内容について解説した。 第1回：御用記條箇(宝徳2年～安永元年)－「安禅寺御用記」の成立と阿部信成一 第2回：皇神御用記(慶長18年～嘉永3年)－文書でたどる王神祭－ 第3回：御用記(宝徳2年～宝永7年)－市の文化財、戦国末期河村検地の数々－ 第4回：御用記(宝永6年～正徳4年)－御社頭の移転工事、寄進物、年中行事－ 第5回：現地見学－江戸時代の史跡などを巡りながら文書資料室から安禅寺までを歩きます－	
2	10月2日～11月20日午後1時30分～午後3時30分	長岡市の中世の地名、村の開発の様子などを検地帳から探る。	新潟県立歴史博物館主任研究員 前嶋 敏 長岡工業高等専門学校准教授 田中 聡 城郭研究家 鳴海忠夫 長岡市立中央図書館文書資料室嘱託員 田中洋史
	内容・方法	長岡市史双書No.18『検地帳に中世を読む』をテキストに、その回の内容について解説した。 第1回：慶長2年「河村検地帳」川東地区① 第2回：慶長2年「河村検地帳」川東地区② 第3回：慶長2年「河村検地帳」東山地区 第4回：バス巡見 検地帳の現地を歩く～芹川城跡・与板城跡ほか～ 第5回：慶長3年「堀検地帳」寛永期「牧野前期検地帳」 第6回：天保3年「牧野本検地帳」	

**成 果** アンケート結果より  
 前期 ・ 江戸時代のわからないこと、また本を読んでも理解できないことを知ることができた。  
 ・ 長岡の歴史への視野が広がった。  
 後期 ・ 検地帳から地名が理解できた。  
 ・ 検地帳の数値から歴史が感じられ、単なる土地台帳ではないことがわかった。  
 ・ 直江兼続との関わりを理解できた。  
 ・ 歴史の勉強方法がわかった。

**課 題** ・ 参加者から「身近な史実を知るとは楽しいし理解しやすい。」との声がある。今後も継続して講座を提供していく必要がある。

**問合せ先** 長岡市立中央図書館文書資料室 (担当 星純子)  
TEL: 0258-36-7832

事業名 襖の下張り文書講習会

趣 旨 中越大震災で被災した家屋・土蔵から救済された襖下張り文書の剥離作業を体験することにより、歴史資料を保存することの重要性を普及・啓発する。

実施主体 長岡市立中央図書館文書資料室

参加対象 長岡市資料整理ボランティア

参加者数 延べ58名

回 数 1回 日 数 3日 時 間 16時間

場 所 長岡市浦瀬町資料整理室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月25日(木) ～10月27日 (土)午前10時 ～午後4時(初 日のみ午後1時 から)	中越大震災で被災した家屋・土蔵から救済された襖下張り文書の剥離作業を体験することにより、歴史資料を保存することの重要性を普及・啓発する。	(有)ゴトウ経装 後藤光晴 (表具師)
	内容 ・ 方法	講師による講義・実演見学。襖下張り文書の剥離作業の体験(剥離・乾燥・仕上げ等)。	

成 果

- ・ 資料整理ボランティアに剥離作業を体験してもらうことができた。
- ・ 襖下張り文書から長岡市の歴史に関する様々な古文書が発見された。
- ・ 普段見ることができない表具師の専門技術に触れることができ、歴史資料の整理・保存作業に対する認識を新たにすることができた。

課 題

- ・ 単年度事業にすることなく、対象を一般市民に広げるなどして、剥離作業の体験活動の継続をはかること。
- ・ 剥離した古文書の目録を作成し、市民の歴史研究への活用をはかること。

問合せ先 長岡市立中央図書館文書資料室(担当 田中洋史)  
TEL: 0258-36-7832

事業名 文化講座

趣 旨 一般教養及び趣味等を身につける機会を提供して文学への親しみを深め、あわせて図書館の利用促進を図る。

実施主体 長岡市立中央図書館

参加対象 一般市民（市内外を問わない）

参加者数 延べ482人

回 数 1回 日 数 4日 時 間 6時間

場 所 中央図書館講堂

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月19日(水) 9月20日(木) 9月26日(水) 9月27日(木) 10:00～11:30	「図書館で探る直江兼続」	長岡市文書資料室嘱託員 田中洋史
	内容・方法	NHK大河ドラマの主人公に決定した「直江兼続」について、図書館の利用方法も含めて講演を行った。	

成 果

- ・ 今話題の人物であることから、例年に比べ大勢の参加者があった。
- ・ 参加者のアンケートからは、「図書館にある関連本を読みたい」「直江兼続の史跡を訪ねてみたい」などの感想が寄せられており、教養及び趣味等の向上に役立つことができたと考えられる。

課 題

- ・ 今回は、話題の人物であったために大勢の参加者があったが、今後、市民の関心のある内容をテーマとして取り上げていくことが求められる。
- ・ 効果的なチラシづくりや配布の工夫など積極的な広報活動を行い、参加者の増加を図る。

問合せ先 長岡市立中央図書館（担当 高橋浩二）  
〒940-0041 長岡市学校町1-2-2  
TEL：0258-32-0658 FAX：0258-32-0664  
ホームページ：<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>  
メールアドレス：[lib@city.nagaoka.niigata.jp](mailto:lib@city.nagaoka.niigata.jp)

事業名 **第20回紫雲寺地区子ども芸能音楽祭**

趣 旨 紫雲寺地区内の子どもたちが日頃の練習・活動の成果を一堂に会し発表、保護者や地区住民にも子どもたちの成長振りを楽しんでいただいている。また、新発田市との合併を機に地区外の芸能音楽団体に客員出演を依頼し、芸能音楽交流を行う。

実施主体 新発田市紫雲寺地区公民館

参加対象 紫雲寺地区内6団体 紫雲寺地区外1団体

参加者数 参加7団体 計218名 鑑賞者数 約500名

回数 1回 日数 1日 時間 2時間

場所 新発田市紫雲寺地区公民館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	11月17日（土） 午後1時30分～午後3時45分	*****	*****
1	内容・方法	当日プログラム ○紫雲寺小学校5・6年生 「干拓太鼓・紫雲寺干拓音頭」 ○紫雲寺中学校音楽部 「トランペット吹きの日」「スペイン組曲」 （リコーダー合奏） 「伝統的なアイルランドの民謡より」「千の風になって」 ○稻荷岡子供神楽会 「神楽舞」「手踊り」～新保幸代寺・上州追分～ ○御免町小学校安兵衛太鼓部 「安兵衛太鼓」「御免町太鼓」「荒海乱打」 （客演） ○米子小学校ブラスバンド部 「こんにちはトランペット」「手のひらを太陽に」 「となりのトトロ」 ○五ヶ字神楽子供会 「天狗・神楽太刀打ち舞」「神楽舞」 「新保幸代寺・上州追分・十二ハシゴ舞」「六兵衛舞」 ○藤塚小学校5・6年生 「藤塚浜大漁太鼓 ～春・夏・秋・冬～」	

成 果 ・ 活動の成果を発表する場の提供  
 ・ 地区内外の芸能音楽の交流

課 題 ・ 地区外の出演団体を増やし、出演者や鑑賞者に楽しんでいただく。  
 ・ 事前準備（楽器・太鼓の運搬）について参加団体の協力が必要。

問合せ先 新発田市紫雲寺地区公民館 電話：0254-41-2291

事業名 **市民教養講座（ふるさと歴史講座・ハーブ教室）**

趣 旨 心豊かにいきいきとした生活を送ってもらう。

実施主体 新発田市加治川地区公民館

参加対象 一般成人

参加者数 ふるさと歴史講座 各40名 ハーブ教室 各15名

回 数 各3回 日 数 計6日 時 間 各1回2時間限度

場 所 新発田市加治川地区公民館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月22日（木） 12月6日（木） 12月15日（土）	市町村合併後、地区の歴史を再認識し・ふるさとの歴史を学び・語り・後世に受け継いでゆく	県歴史博物館研究員 市文化財調査審議委員 地名研究家
	内 容 ・ 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三講座のテーマ①縄文晩期の世界を覗く②中世金山郷の姿③地名から探る近世潟端の暮らし</li> <li>・地元文化財調査審議委員とテーマ・内容と検討して実施</li> <li>・県と共催し、または地域の歴史研究家等関係者の協力を得、合併後新たに地区の内容を中心とした歴史講座開設した</li> <li>・今年度から3回シリーズとし、次年度以降も継続して実施する</li> </ul>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月31日（水） 11月14日（水） 11月24日（土）	地元ハーブ栽培農家と連携し、ハーブの効能・ハーブティの味わい方・リース作りを学び・仲間づくりを進めた	ハーブコーディネーター
	内 容 ・ 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元栽培農家であり、ハーブコーディネーターとして活躍の講師と日程・内容等の打合せ</li> <li>・地区に限定せず、市内全域を対象に講座受講者を募集</li> <li>・テーマは①ハーブアレンジメント②ハーブキャンドル③ハーブ料理の三つを設定し、ハーブの効能を理解したり、ハーブを使った料理を味わったり、リース等の作品を作った。</li> </ul>	

成 果

- ・ 地元の歴史を学ぶことにより再認識し、共通認識の中での人間的なつながりが出来た。
- ・ またハーブ教室は、地区住民に限定せず共感する仲間が増え、栽培方法を学び、ハーブに親しむ良い機会となった。
- ・ 参加者からは内容・日程等ほぼ全員から満足の意見をいただいている。

課 題

- ・ 歴史保存を望む声がある中で、人材と地域を大事に取り組む体制作りは住民、行政、学校が手を取り合って活動を展開してゆくかが、今後の課題である。

問合せ先 新発田市加治川地区公民館業務係 電話：0254-33-2433



**事業名 チーム・アルカディア 事業**

**趣 旨** 平成6年度から主催し実施しているアートプロデュース講座の受講生を中心に、今まで学んだ事業の企画から運営までのノウハウを生かしながら、市民とホール職員とが共同で「事業の企画から実施」「買い物公演に手を加える」など、自主公演や事業をサポートする団体としてチーム・アルカディアを設置する。

**実施主体** 見附市文化ホール

**参加対象** 一般（市内外を問わず）

**参加者数** 12名（延べ52人）

**回数** 13回(1/13現在) **日数** 13日（1/13現在） **時間** 73.5時間

**場 所** 見附市文化ホール

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5/18～1/13	見附市文化ホール主催事業の企画制作・運営をホール職員と協働で行う。	アドバイザー： 西巻 正史
	内容・方法	企画案の作成や、公演の運営などを本番実施に向けて企画会議や事前準備を行いながら、ミニ公演シリーズや、市民が参加出演する舞台公演「歌えベーゼンドルファー」「アルカディア・フェスティバル」の企画・制作及び運営や「白石光隆ピアノ・ソロ・コンサート」の公演内容の企画を行った。	

**成 果** ・ 市民とホール職員が共同で事業やホール運営を考えることで、参加する市民を始め鑑賞する住民からアルカディアの事業への関心が高まり、住民が芸術に興味を持ち身近に感じてもらった、芸術が生活に定着していくことが期待できる。

**課 題** ・ ホールの事業予算が年々減額される中で、このチームで企画し実施しようとする事業への予算確保や、参加する市民メンバーの増加が課題となっている。

**問合せ先** 見附市文化ホール 文化ホール事業係（担当:高橋 善一）tel 0258-63-5321

事業名 **アートプロデュース講座 舞台技術編**

趣 旨 舞台芸術の照明・音響などの技術の取得をめざす研修事業として開催し、修了生はアルカディアの舞台技術サポートグループ「ホール・アソシエイツ」参加してもらい、市民のスタッフとして活動してもらうもの。

実施主体 見附市文化ホール

参加対象 一般（市内外を問わず）

参加者数 8名（延べ32人）

回数 4回 日数 4日 時間 32時間

場 所 見附市文化ホール

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	2/3・2/11	舞台照明技術と音響技術の2コースに分かれて、アルカディア主催の公演実施に向けた技術講座を行う	新潟照明技研の照明・音響担当者
	内容・方法	各コースの中級技術からより高度な技術の取得を目指した実技講習を行い、2/17に開催する市民参加出演公演へ舞台スタッフとして携わるための準備を行う。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	2/16・17	実際の公演舞台を作り、公演を行う	
	内容・方法	市民参加出演公演へ舞台スタッフとして、事前に仕込み準備をした舞台上で、実際に出演者によるリハーサルから公演本番までを行う。	

成 果 ・ この講座を受講することで参加者の舞台芸術への関心が高まると共に、技術が向上することでホール・アソシエイツの組織力アップにつながることを期待できる。

課 題 ・ 参加する市民の増加少なく、より多くの参加を得ることと、修了後の活躍の場の確保と提供が課題となっている。

問合せ先 見附市文化ホール 文化ホール事業係（担当:白井 崇裕）tel 0258-63-5321

事業名 うおぬま市民大学（講演会講座）

趣 旨 魚沼市民が余暇を活用して生涯学習に取り組むことができるように学習機会を提供することにより、学ぶ楽しさを味わいながら豊かな生活を送ることができるようにする。

実施主体 魚沼市教育委員会生涯学習課

参加対象 市民

参加者数 講演会講座 延べ1, 878名

回数 5回 日数 5日 時間 10時間

場所 小出郷文化会館 広神コミュニティセンター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月2日(土) 14:00~16:00	「八重子のハミング」 ～アルツハイマーの妻に送る31文字のラブレター～	陽 信孝 元萩市教育長 萩金谷天満宮宮司
	内容・方法	夫は胃ガン、妻はアルツハイマーという夫婦同時発病の中、短歌を詠みながら妻の介護を四千日続けた実体験と、家族の支え合いや子育てについての講演。 小出郷文化会館 うおぬま高齢者講座連携事業	
2	7月11日(水) 19:00~21:00	「今を生きる子どもと親へ」 ～届け命のメッセージ～	水谷 修 夜回り先生
	内容・方法	少年の非行や薬物防止に取り組む「夜回り」や電話、インターネットによる相談を行い、子ども達を守り立ち直りの支援を行っている活動や経験を通じた講演。 小出郷文化会館 魚沼市・川口町PTA連絡協議会と連携	
3	9月1日(土) 14:00~16:00	「日本人の品格」 ～直江兼統の義と愛～	火坂 雅志 作家 宝井琴梅 講談師
	内容・方法	NHK大河ドラマの原作となった「天地人」の原作者より、義と愛を重んじ米沢藩の礎を築いた「直江兼統」の生涯と戦国武将の交わりについての講演と講談。 小出郷文化会館 魚沼市文化講演会共催	
4	10月20日(土) 14:00~16:00	「ヤギの飼育から学んだ経営哲学」 流通大手企業の役員による発想と行動力のヒント	佐藤信武 (株)イトー ヨーカ堂取締役副会長
	内容・方法	魚沼市に生まれ、流通大手企業の役員に至るまでの道のりと、発想力、行動力の源について、「まちづくり」のアドバイスなどの講演 広神コミュニティセンター 魚沼市ものづくり振興協議会連携	
5	12月8日(土) 13:30~15:30	「息子3人、アナウンサー夫婦奮闘物語」 夫婦で子育てをしているアナウンサーの実体験	有名民放男性アナウンサー
	内容・方法	朝のテレビ番組で有名な民放アナウンサーが、夫婦で子育てをしながら仕事を続けてきた実体験と子育ての講演。 小出郷文化会館 魚沼市・川口町PTA連絡協議会と連携 「ありがとう作文」優秀賞発表会 兼 男女共同参画講演会	

成 果 ・ 市民大学講演会も3年目となり、今までの生涯学習機会提供のきっかけとしての講演会という手法から一歩進め、大規模な「講演会講座」と比較的少人数で専門的な分野を学ぶ「まなび講座」に分けて実施した。講演会については、回数は減ったが1回あたりの参加者数は伸びており、機会提供としての目的は一応達している。

課 題 ・ 受講者を増やすため各種団体と連携し事業を行ってきたが、どうしても参加者が偏る傾向がある。幅広い年代からの参加を求めるには、各種団体の連携がスムーズであることと、魅力ある講演内容を提供することが必要となる。このため、どのように市民の声を反映させた講座の持ち方にするか、検討する組織を確立しなければならない。

問合せ先 魚沼市教育委員会生涯学習課社会教育係 TEL 025-794-6073

事業名 **湯沢町総合文化祭**

趣 旨 公民館における各種講座や一般町民による作品の発表の場とするとともに、町民の芸術に対する理解を深め。また、文化祭を通じて町民の文化に対する趣味や勉強につながると考えている。

実施主体 湯沢町公民館（湯沢町教育課）

参加対象 町民

参加者数 1 2 4 0 人

回 数 1 回 日 数 3 日 時 間 午前9時から午後8時

場 所 湯沢町公民館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	11/1～11/3 9:00～20:00		
1	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民や公民館講座生による作品の発表（作品展覧会）</li> <li>・文化祭協賛事業として、町文化施設（町有1施設・民間2施設）の無料開放と展覧会への協賛</li> <li>・11月5日に文化祭の一環として芸能発表会も開催された。芸能発表会は、町内の芸能協会所属団体19団体による発表会を行った</li> <li>・文化系サークル・文化系講座（作品を出品できない団体）による発表会又は体験教室を開催（各日に午前又は午後各1団体ずつ計6団体による発表・教室を行った。）今年度より新たに文化祭の催しとして開催</li> <li>・町民茶会（3日文化の日のみであるが、本格的な茶会を開催した）</li> </ul>	

成 果 ・ 入場者が、町民の作品に興味を持ってくれた。また、出品者が加入しているサークルへの加入方法等の問い合わせがあった。今まで、知られていなかったサークル等への紹介になり大変効果的であった。

課 題 ・ 町にある文化施設の再確認にもなった。入場者数が少なかったため、主会場から誘導を工夫する必要がある。  
 ・ サークル等の発表については、新たに文化祭の催しとして加えられたが、若干広報活動等の不足がありフリーの参加者が少なかったが、サークルからはお褒めの言葉があった。（次回からは、この点に注意し企画していきたい。また、別の視点からも考えていきたい）

問合せ先 湯沢町教育委員会 社会教育課（湯沢町公民館） TEL025-784-2460

事業名 **絵本と音楽のハーモニー**

趣 旨 絵本の読み聞かせと音楽の奏でるハーモニーを体験することを通して、そのすばらしさを感じるとともに、家庭教育や子育て支援を図る。

実施主体 おはなし村のちいさな木・荒川町地域子ども教室推進委員会・荒川町公民館

参加対象 保育園児・幼稚園児・小学生・保護者

参加者数 延べ70名

回 数 2回 日 数 4日 時 間 2時間

場 所 荒川町公民館 視聴覚室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月21日（土） 10：30～11：30	「えほんコンサート」地域の方による講演を通して絵本と音楽の融合を体感する	おはなし村のちいさな木 小鷹文美・野尻公子 川崎光一
	内容・方法	○絵本の読み聞かせにハモンドオルガンの演奏を合わせ、おはなしの世界にあった演奏をおこなった。 ○大型絵本や紙芝居などを取り入れ、参加者へ見やすい配慮を行った。	
2	12月8日（土） 14：00～15：00	「えほんと音楽につつまれて」より専門的な講師による講演を通して絵本と音楽のすばらしさを体感する	おはなしDuo 熊本希代加・田島知子
	内容・方法	○絵本の読み聞かせにピアノ演奏やボンゴの演奏を合わせ、おはなしの世界にあった演奏をおこなった。 ○リトミックなども取り入れ、参加者相互の交流や親子のふれあいの楽しさを体験することができた。	

成 果

- ・ 絵本の読み聞かせと音楽を組み合わせることで、子どもたちに絵本のすばらしさと、音楽の楽しさを体感してもらうことができた。
- ・ 事業主体をボランティアで構成し、企画立案、事業実施にいたるまで自立した活動として実施することができた。

課 題

- ・ 今後は、近隣市町村と連携することや、音楽のジャンルなども幅広く事業展開していくことも検討する必要がある。
- ・ 参加者人数は、活動に適切な規模だが、親子中心の事業なので、子どもだけでも楽しめる事業展開も検討する必要がある。

問合せ先 荒川町教育委員会生涯学習課（担当 岸 宗光） TEL 0254-62-3050